



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>



2021年6月5日 発行 第10号

ワシントン日本語学校
校長 神戸 昭夫

[ワシントン日本語学校事務局]
HOT LINE (301)962-7415
TEL (301)962-7410
FAX (301)962-7411

5月29日 今日もいろいろな発見がありました

『とめ、はらい、はね』(小6国語)

漢字50問テストのスタート。「時間いっぱい『とめ、はらい、はね』に注意して丁寧に書いてね。必ず家の人に提出して、Google クラウドルームに出してください。」「質問のある人はミュートを外して聞いていいです。」<(^)o(^)>漢字のテストですから、ぜひ意識して書きたいですね。基本は大切です。

『は・ひ・ふ・へ・ほ』(小1国語)

「ばいきんまん」ではありません。「は行」の平仮名の勉強です。「は」で始まる言葉→「はた」。「ひ」→ひこうき。「ふ」→ふうせん、「へ」→へび、「ほ」→ほし。「それではノートを出してください。」子どもたちが言ったことばをホワイトボードに書いてあります。「ノートに書きましょう。」「もう書けた？早いんですね。『は』から始まる言葉はまだまだあります。一生懸命アメリカ国旗を振ってアピールしている子がいます。「<(^)o(^)>「は」で始まる言葉は「はた」！ずっと忘れないでしょう！

『永遠に続いているような』(小2国語)

「スイミーが海の中で見つけたものは何ですか？いろいろなものを見つけたんですね。海の中に潜ったことありますか？ちょっと見てみましょう。」「これは？」「からすがいいです。マグロ。」「大きさはみんなより大きい。」「クラゲ」「光ってとってもきれいなんですよ。伊勢エビ。キャタピラーみたいですね。」先生が、ウナギの写真の頭としっぽを行ったり来たりして見せていると、その長さからか「永遠に続いているような」という驚き発言あり。<(^)o(^)>どこで覚えたのでしょうか。そんなぜひ、教えてほしいです。

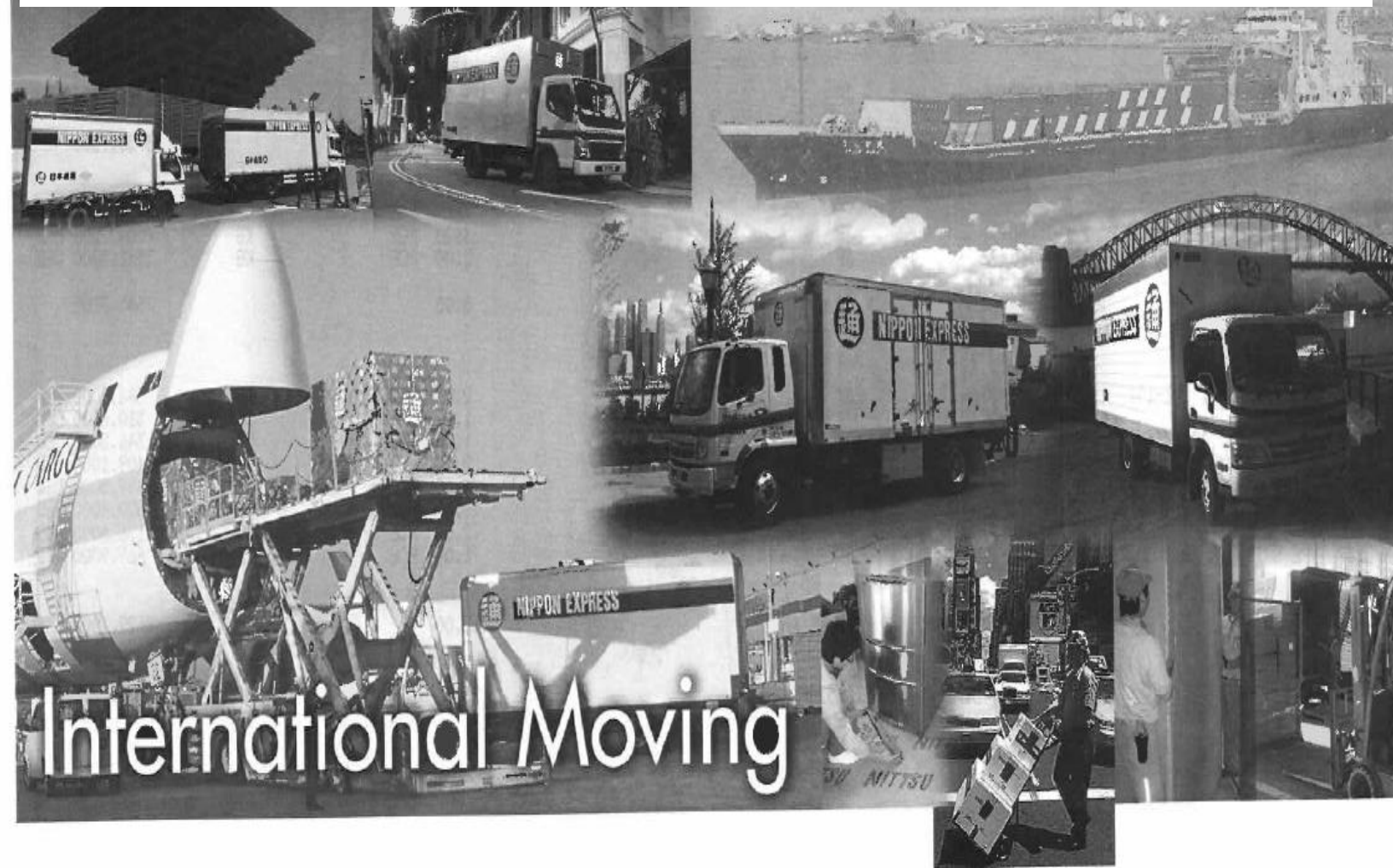
『みなさんは・・・ですか。』(中1国語)

班ごとに15分間のスピーチの練習。「司会の人、お願いします。」私もルームAへ。司会の人が行進します。「では、えーと。始めにA君、次が私、最後がCさんという順でいきましょう。」「誰が最初ですか？」再確認です。「A君です。」「はい。」

「みなさんは、くまモンのことを知っていますか。黒くて丸い形をした、九州新幹線の観光客を増やすために、2010年にPRマスコットになりました。熊本弁で熊本のものという意味です。著作権は無料なので、いろいろな会社や海外でも人気でした。きっかけはひとこが熊本に住んでいるからです。僕のスピーチを終わります」

「みなさんは、何の動物が好きですか。私はモルモットを飼っています。名前はタラちゃん。2年生の時に買ってもらい、大切にしています。好きな食べ物はニンジンです。外に出て、家に入るのを待っている姿がとてもかわいいです。ペットがほしい方にはとてもお勧めです。」

帰国の際の引越しは、日通にお任せ下さい



海外からの帰国にピッタリな引越しプラン

スタンダードサービス: 梱包から大型家具の輸送までお客様のニーズにお応えします。

スモールパッケージサービス: お荷物の少ない方にお勧めのお得なパッケージサービスです。

お申し込み、お問い合わせは米国日本通運ワシントン支店まで

「みなさんは、ひまな時、何をしていますか。私は絵を描いています。きっかけは小2の写生大会で入賞したからです。今に至るまでずっと描いています。中1になった今、イラストを仕事にしようとしています。自分のイラストで仕事がもらえるようになりたいです。絵を好きな人は私と友達になってくれるとうれしいです。」

続いて、全体発表。その司会になった人が「どういう感じで言えばいいんですか？」とやり方を先生に質問しています。「私たちのグループへ質問や感想はありますか。」「問いかけ方がわかりやすかったです。」「ありがとうございます」「他にありますか。なければ他のグループにいけます。」<(^)o(^)>司会の進め方、司会の人へのフォローの仕方が絶妙、そして3人のスピーチの内容がわかりやすい。短いスピーチですが、人を引き付ける力がありました。

『ぼくのなまえのじ』(幼稚部)

『し』のつく言葉。しんぞう、しょくぱん、しまうま、しりとり、しんどう、しお、しろ。」次は「す」です。なるほど、先生は練習帳の上に透明なシートを置き、その上からマジックでひらがなをなぞって、子どもたちに見せています。「次は『す』。『○△す○君は、自分の名前の字の中に、『す』が入っていることに気が付きました!」<(^)o(^)>自分の名前のひらがなを見つけるとうれしいね。ちなみに、「かんべあきお」は「か、あ、き、お」は早いのですが、「ん」が一番最後でした。

<(^)o(^)> 「全国学力テスト」と「全国学力・学習状況調査」(続き)

さて、秋田県が「都道府県別平均正答率」でいつも上位にいることのお話の続きです。

県の教育長さんは、その理由を「学校教育と、それを支える家庭、地域が高いレベルで調和できているから。高い学力は、家庭における基本的な生活習慣や学習に対する意識、また地域の協力など、さまざまな基盤から」とおっしゃっているそうです。

理由の1つ目「学校教育」について言えば、「1クラスの児童生徒の数を減らし、丁寧な指導ができるようにしたこと」、また、「子どもたちの主体的な話合いや活動を取り入れていること」「新指導要領が掲げている主体的・対話的で深い学び」を、以前から実施していること」のようです。

理由の2つ目「それを支える家庭、地域」についてです。

「基本的な生活習慣がしっかりできており、学校でも家庭でもよく勉強している子どもが多い」からだそうです。

秋田県の校長先生が私におっしゃっていた「別に特別なことはしていないよ。」は、「当たりまえのことをしているよ。」と解釈することができます。

上記2つの理由は、そんなに特別なことでもないし、長い間おこなっていれば「当たりまえ」のことに思えます。

今回は、「基本的な生活習慣」ということに視点を当てて、「全国学力テストと全国学力・学習状況調査(続きの続き)」をお伝えします。

